

TOKYO NATIONAL MUSEUM



博物館でアジアの旅 2021
調査ノート



TNM 東京国立博物館
TOKYO NATIONAL MUSEUM

2021 年 9 月発行

空想動物園

Mythical Animal Wonderland

ようこそ、魅惑のワンダーランドへ

アジアは広く、その文化はじつに多彩です。そのことは各地に伝わる空想動物のすがたに端的にあらわされています。恒例となった「博物館でアジアの旅」の今年のテーマは「空想動物園」。この調査ノートをたずさえて、いにしえより人々と共にあった空想動物の世界をめぐりましょう。

【調査ノートの使い方】

これは、研究員の調査ノートです。

日記やメモを手がかりに、
空想動物をじっくり観察しよう！

① 作品を探す

4-5ページのフロアマップをもとに、
目的の作品を探そう

② 空想動物を観察する

研究員のメモを参考に、
実物を詳しく見てみよう

③ 気づいたことを書き込む

実際に見て気づいたことを空欄に書いて
ノートを完成させよう

※書き込みの際は、展示品を汚損する可能性のあるボールペン、万年筆、毛筆、シャープペンシルなどのご使用はご遠慮下さい

調査日 2021年 月 日 () 作品のある部屋 東洋館 1F 1室 研究員のメモ

MEMO

共命鳥

美しい翼を大きく広げている

極楽浄土に住んでいる

※この部分に貼り忘れた空想動物の写真があります一緒に配布されたシールの中から当てはまるものを貼ろう

研究員の日記

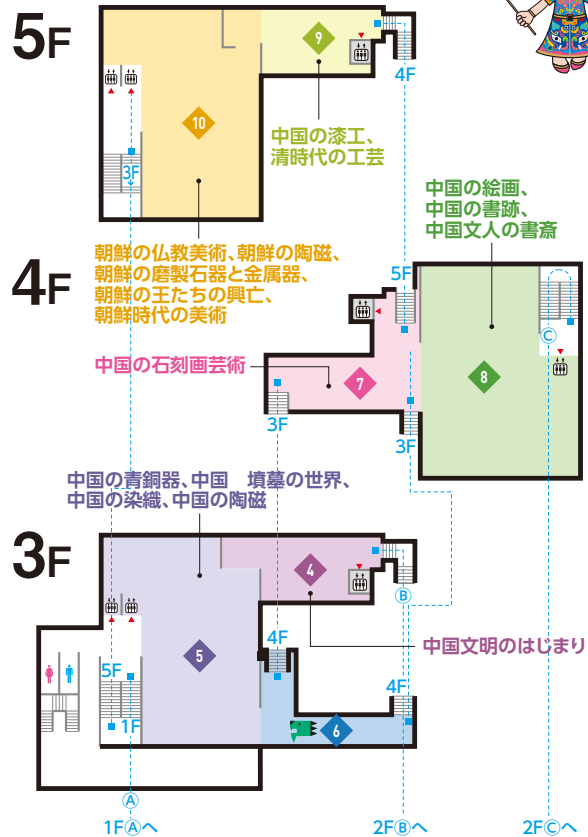
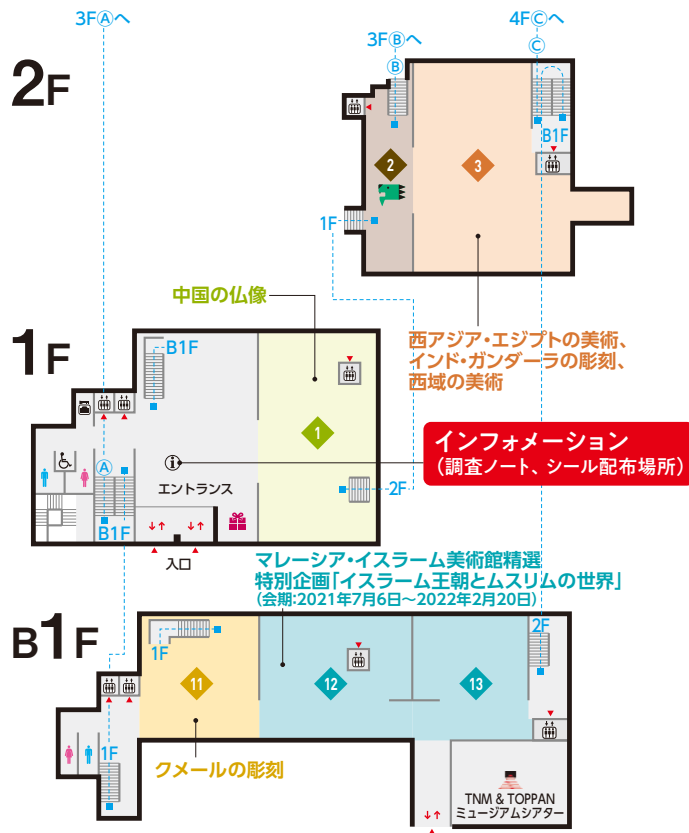
唐王廟の宮殿である大明宮の南に光宅寺があった。この仏像はやつてせこに安置されていたもので、のち空襲で壊れてしまったという。三層のお堂を前にしげしげと見ると、見上げた先に大きな翼の生き物が目に飛び込んできた。人頭はひとつにみえるがよくみると二つはついている。双頭の人面鳥。つまり共命鳥だ。

共命鳥

極楽浄土に住んでいる

※この部分に貼り忘れた空想動物の写真があります一緒に配布されたシールの中から当てはまるものを貼ろう

東洋館 フロアマップ



唐王朝の宮殿である大明宮の南に光宅寺があった。
 この仏龕はかつてそこに安置されていたもので、
 のち宝慶寺にうつされたものという。
 三尊のお姿を前にしばしたたずんでみると、
 見上げた先に大きな翼の生き物が目に飛び込んできた。
 人頭はひとつにみえるがよくみると一つは欠けている。
 双頭の人面鳥。つまり共命鳥だ。



にょらいさんぞんぶつがん
 ◎如来三尊仏龕
 (TC-773)

唐時代・8世紀
 中国陝西省西安宝慶寺
 1面 石灰岩製

ぐ みょうちょう

共命鳥

美しい翼を大きく広げている



極楽浄土に住んでいる

私はいま、玄奘三蔵も訪れたという新疆ウイグル自治区の
スバシから出土したという容器を調べている。

これは釈迦の遺骨をおさめるための舍利容器なのだが、
絵柄はじつに華やかで見飽きることがない。

容器には仮面舞踊のようす。そして蓋には羽をもつ裸の
人物が描かれている。天人だろうか。

仮面舞踊に興じる人々の着飾った姿とはあまりに対照的
な姿である。

しゃりようき
舍利容器
(TC-557)

6～7世紀 中国・伝スパン
1合 木製布貼彩色
大谷探検隊将来品

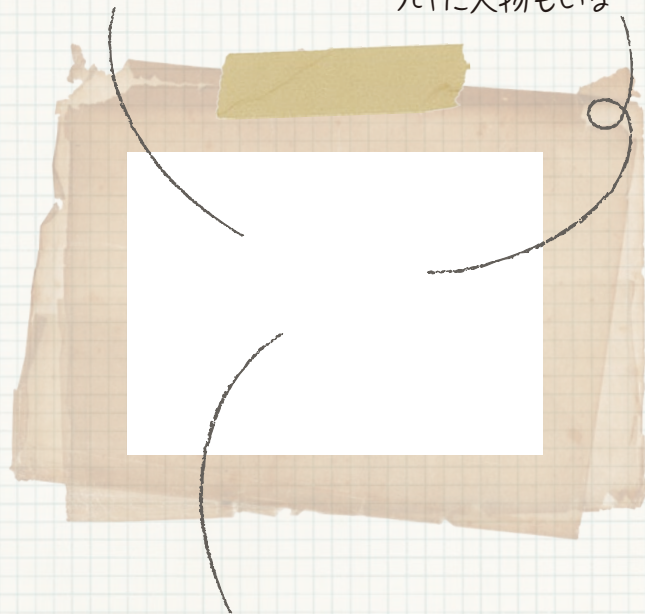


ゆうよくじんぶつ

有翼人物

縦笛を吹いたり、
琵琶を弾いたりするなど、
楽器を演奏している

背中にワシのような
鳥の翼をつけている。
なかにはトンボのような
虫の翅を
つけた人物もいる



背中に鳥の翼をつけた人物の肌は黄色
虫の翅をもつけた人物の肌は緑色

ワシとライオンの合体獣—グリフィン。

ギリシャ人が南イタリアに建設した港湾都市、タラントから出土したものだという。

タラントが繁栄した前4世紀中頃の遺物で、^{ひつぎ}棺の飾りとの説がある。ヘロドトスが『歴史』に記したように、当時のギリシャ人は、グリフィンは地の果てともいえる中央アジアに生息し、彼の地に^{まいざう}埋蔵されている黄金を^{まも}護っていると想像していた。

このグリフィン像が棺の飾りだとすれば、^{ふくそう}棺内に副葬された金製品を護っていたのかもしれない。



^{そうがざりいた}
グリフィン像飾板 (TJ-5523-6)

前4世紀 イタリア、タラント出土
1個 土製 谷村敬介氏寄贈

グリフィン

^{さんぱく}
金箔がところどころに残る
表面にクリーム色の化粧土を施し、
さらに金箔で^{おお}覆っていたようだ



^{くざあな}
飾板を留めるための釘穴

立体的に見えるつくり
実は厚さは1.5cmほどしかない

悠々と天を駆ける一匹の龍^{りゅう}。

筆づかいはよどみなく、そして力強い。

世界帝国ともうたわれた元王朝^{げん}の国力を
まざまざとみせつけられる思いがする。



せい か りゅうとうもんつぽ
青花龍濤文壺 (TG-2351)

中国・景德鎮窯 元時代・14世紀 1口

りゅう
龍

四爪である

うねる波頭に逆らうように
身をくねらせている



細身のからだに対して、
りゅうりゅう
隆々とたくましい腕^{うで}
なにかをつかもうとしているのか

建築家として、また実業家として著名な横河民輔博士は、
東洋陶磁の研究にも多大なる功績をのこした。

現在の中国福建省で焼かれたこの民窯の大皿も
横河博士が収集された貴重なコレクションのひとつだ。
やたくしはこの作品を手にとるとき、一人の研究者の視点としてだけでなく、ときに横河博士のまなざしを追いかける。



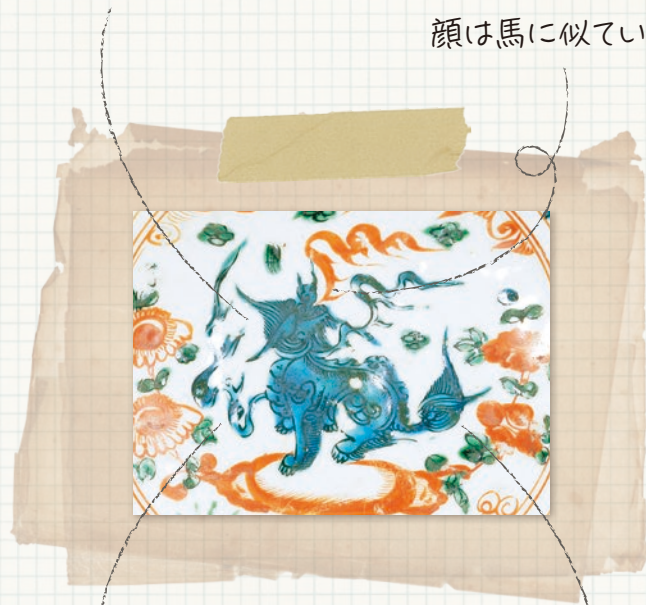
ごさい きりんもんおおざら
五彩麒麟文大皿
(TG-1287)

中国・漳州窯 明時代・17世紀
1枚 横河民輔氏寄贈

きりん
麒麟

角らしきものがみえる

顔は馬に似ている



からだは獅子のようだが、
背中にはたてがみ、
もしくは鰭のようなものがある

ふさふさした大きな尾

長江の上流、四川盆地は実に興味深い文化を育んだ。

崖を穿^{うが}って築いた墓の中には、死者を神仙世界へと

いざなうような品々をおさめる。

揺銭樹^{ようせんじゅ}はその最たるものだ。

頂上には鳳凰^{ほうおう}が翼をひろげて立っている。

死者を仙界へといざなう重要な役割を担っているともいう。



長江の上流、崖に穿たれ

た洞窟のような墓に

この揺銭樹は立っていた。

上にいるのは鳳凰^{ほうおう}だ。

美しい尾羽やトサカを有している。

時代や地域が異なっても、

この基本的なかたちは

かわらないらしい。

揺銭樹^{ようせんじゅ}
(TJ-5707)

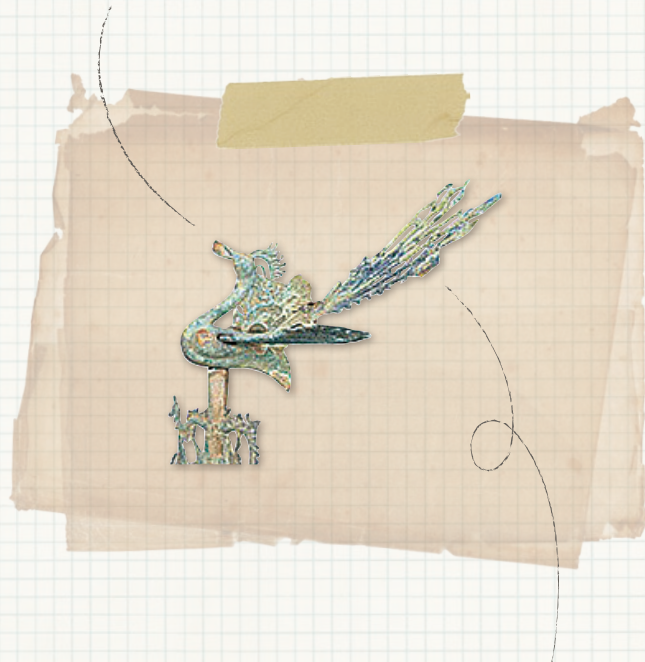
後漢時代・1～2世紀
中国四川省あるいはその周辺
1具 青銅・陶器

ほうおう

鳳凰

何かをくわえている。

仙界へ登る際に必要な特別な実か



クジャクのような羽

画像石は、墓やほこの壁を装飾する石だ。

この石は画面を上中下の三分割にしている。

下段がこの世。中段は、まさにいま上段に表された
仙界へと向かおうとしているのか。

その上段の中央には人の生死を司る西王母。

両脇に従うのは、人間のような者もいれば、
明らかにそれとは異なる者もいる。実に多様だ。

下段に表された人物や動物と関係性があるのかもしれない。



画像石 西王母 / 馬車 / 狩猟 (TJ-4796-5)

後漢時代・1～2世紀 中国山東省晋陽山慈雲寺天王殿
1面 石灰岩製

ちょうじん
鳥人

異様なまでに目玉が大きい



宙に浮いている

手をあわせ、
膝をまげて座っている。
体はヒトに近そうだ

この風変わりな工芸品は、中国の最後の王朝である清時代に作られた。

金属器を色鮮やかな釉薬で装飾する七宝という技法が用いられている。

その形や文様は、古代中国の青銅器を真似ている。

手提げが付いた蓋つきの酒器の表面には、大きな目をした顔面が表わされている。これは人間をも喰らう饕餮とよばれる怪獣であるという。

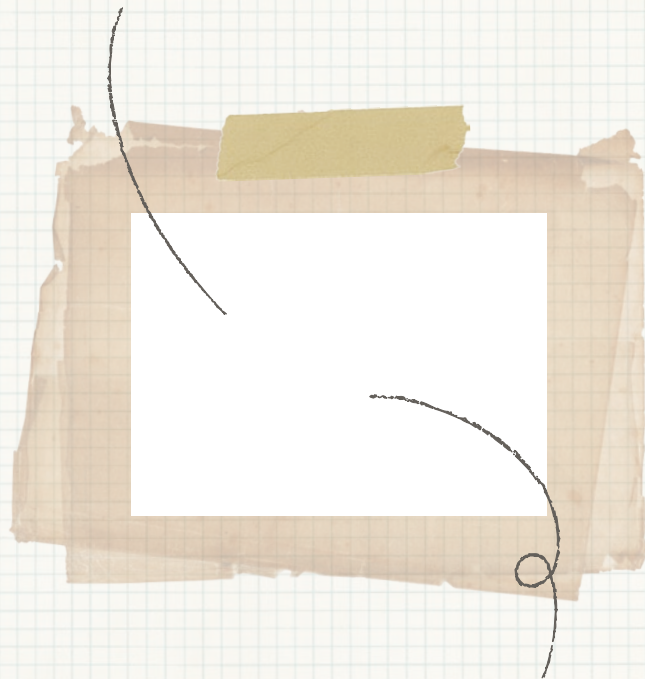


とうてつしつぽうゆう
饕餮七宝缶
(TG-538)

清時代・19世紀
1合 七宝
神谷傳兵衛氏寄贈

とうてつ
饕餮

大きな目玉がギランと輝いている



鼻を広げて、口をグワッと開いている

カンボジア北部のアンコールには、
クメール王朝の栄華を今に伝える遺跡^{いせき}がある。
この石像は、当地の石造寺院に由来するという。
ゾウの頭にヒトの体。そう、ガネーシャだ。
ヒンドゥー教ではシヴァ神の子であるという。
ゾウの皮膚^{ひふ}感をよく再現している。
ゾウが身近に暮らす風土だからこそ造形といえるだろう。

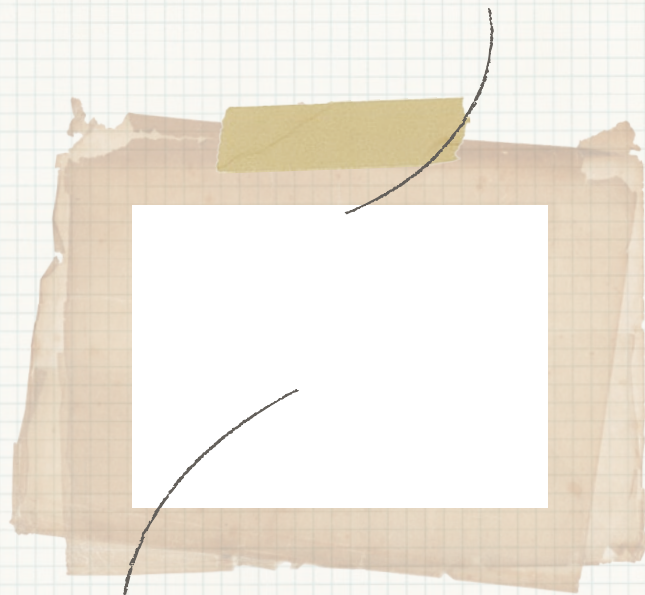


ガネーシャ^{ぎぞう}坐像
(TC-403)

アンコール時代・12～13世紀
カンボジア・ブッダのテラス北側
1 軀 砂岩製
フランス極東学院交換品

ガネーシャ

冠^{かんむり}をかぶっている



ふくらんだお腹が特徴だ

アンコール時代の建物はレンガ積みであっても

窓や入り口などの上部にこのような石材を
架けることが多いという。

ここカンボジアでは、9世紀にジャヤヴァルマンⅡ世が
即位してアンコール王朝がはじまり、

13世紀の初めまでクメール文化が大いに栄えた。

両端の怪魚マカラが口から射水や花綱を吐き出したり、
あるいは飲み込んだりしている。

楯 (TC-398)

アンコール時代・11世紀

カンボジア、タ・セル

1基 砂岩製

フランス極東学院交換品



マカラ

獅子のような顔をしている



力強い体つきだ

インドの川や湖に住むとされる

空想動物園調査マップ

Italy
イタリア

Syria

シリア

Iraq

イラク

Iran

イラン

Egypt
エジプト

Pakistan

パキスタン

Nepal
ネパール

India

インド

Mongolia
モンゴル

North Korea
北朝鮮

China
中国

Korea
韓国

Japan
日本

Thailand
タイ

Vietnam
ベトナム

Cambodia
カンボジア

Indonesia
インドネシア

